



内閣府

～美ら島の未来を拓く～沖縄総合事務局 定例記者会見（ 12 月 ）

日時：令和3年12月24日（金）11:00～

場所：沖縄総合事務局1F 共用会議室 AB

【発表事項】

1. 通勤急行バス「通勤ライナー」を実証運行します！
2. レンタカー不足に対応した公共交通機関の活用呼びかけ
3. 沖縄総合観光ポータルサイトの運用について

参考資料「2021 沖縄総合事務局重大ニュース」

出席者	沖縄総合事務局				
	局 長	田 中	愛智朗		
	次 長	上 村	秀 紀		
	次 長	岩 田	美 幸		
	総 務 部 長	荻 堂	信 代		
	運 輸 部 長	米 山	茂		



令和3年12月24日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

通勤急行バス「通勤ライナー」を実証運行します！

～快適な通勤環境を創出することで「マイカー」から「バス」への利用転換を目指します～

沖縄県では自動車保有台数が年々増加し、マイカーが主な移動手段となり、バスをはじめとする公共交通の利用率が低く、特に朝夕の通勤時間帯を中心に、慢性的な交通渋滞が発生しています。また、マイカー利用はバスの約 2.5 倍の二酸化炭素を排出するため※、地球温暖化対策の観点からも公共交通利用促進が急務です。

沖縄本島中南部における朝夕ピーク時の交通渋滞の解消等のため、沖縄総合事務局では、昨年度に引き続き、通勤急行バス「通勤ライナー」の実証運行を行います。県内の主要通勤ルートにおいて、快適な通勤環境を整えた貸切バス車両を使用して運行し、マイカー通勤からバス通勤への利用転換を目指します。今年度は、路線バス事業としての自立運行に向け、運賃を有料化し、利用者の利用意向の把握や運行に当たっての課題の整理を行います。

※ 環境：運輸部門における二酸化炭素排出量「2. 輸送量当たりの二酸化炭素の排出量」 - 国土交通省

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

実証運行の内容

1. 実施期間 令和4年1月11日（火）～2月7日（月）
※平日のみの運行となります。
2. 利用対象者 那覇市外から那覇市内へ通勤している方
3. 運行ルート
(ア) 読谷ルート（読谷バスターミナル～嘉手納～北谷～県庁北口～那覇空港）
(イ) 具志川ルート（具志川バスターミナル～コザ～胡屋～普天間～県庁北口～那覇空港）
(ウ) 南城ルート（南城市役所～与那原～宮平～県庁北口～那覇空港）
4. 車内環境
(ア) 無料 Wi-Fi を完備。
(イ) パソコン、スマートフォンの充電設備を設置。
5. 運賃 有料（別添資料をご覧ください）
6. 利用方法
インターネットで下記の URL より予約及び事前決済
（アンケートへ回答いただくことが条件となります）。
○予約サイト <https://oki-tsukinliner.jp/>
7. 取材申し込み
運行初日（令和4年1月11日（火））の「南城ルート」第1便にて取材が可能となっております。
ご希望の場合は、別紙「取材申込書」にてメール又はFAXにてお申し込みをお願いいたします。
8. その他
詳細は別添資料をご覧ください。

【問い合わせ先】

運輸部企画室 當眞・安慶田・野原

TEL：098-866-1812（直通）

FAX：098-860-2369

E-mail：unyu-kikaku.j2a★ogb.cao.go.jp

※「★」を「@」に置き換えて送信してください。

取材申込書

※申し込み締め切り：令和4年1月6日（木）まで

御 社 名		
ご 所 属	(TEL :) (e-mail)	
ご 氏 名		同行者 : 名
取材方法（ご希望の番号へ○をしてください。）	1. 運行中の車両に乗車しながらの取材を希望 2. 出発前（停車中）の取材を希望 3. その他（取材方法を記載 : ）	
【機材持込、その他事前連絡事項がございましたら、ご記入下さい】		

- ※ 取材される方は、所属が判別できる「腕章」を必ず着帯下さい。
- ※ 運行中の車両に乗車しながらの取材の場合、各ルートの座席数に限りがあるため、申し込みの先着順に座席を割り当てることとし、ご意向に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

1. 通勤ライナーの概要

- 沖縄本島中南部における朝夕ピーク時の交通渋滞の解消等のため、マイカー通勤からバス通勤への利用転換を促進
- 読谷方面、具志川方面、南城方面と那覇市中心部を結ぶ3ルートを一月から2月の平日20日間に朝夕2便ずつ運行
- 運行ルート上の乗降バス停は利用者が多いと見込まれる箇所を選定
- 本年度は路線バス事業者としての自走化に向け、料金については、本実証と同経路の既存路線バスの運賃と同額にて実施（決済は事前予約・事前決済）※予約・決済については発車オーライネットを使用

< 運行内容 >

- ・ 実施期間：令和4年1月11日(火)～2月7日(月) ※平日のみ20日間
- ・ 運行時間：朝2便：県庁周辺に7：30～8：30頃到着
夕2便：県庁周辺を18：00～19：00頃出発
- ・ 料 金：同経路を運行する既存路線バスの運賃と同額
- ・ 予約支払：事前予約・事前決済（<https://oki-tsukinliner.jp/>）
- ・ 車 種：貸切バスを使用
- ・ 運行ルート：読谷ルート、具志川ルート、南城ルートの3ルートを運行

(通勤ライナーロゴ)



(3ルートの概要)

<p>読谷ルート</p> <p>読谷 ↔ 北谷 ↔ 那覇</p> <p>読谷BTから県庁北口まで 約75分</p>	<p>具志川ルート</p> <p>具志川 ↔ コザ ↔ 那覇</p> <p>具志川BTから県庁北口まで 約83分</p>	<p>南城ルート</p> <p>南城 ↔ 与那原 ↔ 那覇</p> <p>南城市役所から県庁南口まで 約41分</p>
------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------

< 運行ルート >



2. 通勤ライナーの車内環境及びパーク&バスライド

- バス車内に無料Wi-Fi、端末充電を整備し、マイカー通勤では困難なメールの確認や資料作成が可能
- 2席1名利用とし、ゆったりとした快適な空間を提供
- 乗降バス停の近隣施設と連携し便利なパーク&バスライドを実施（一部施設調整中）
- WEBサイトにてバスの現在位置情報を表示（渋滞等による遅延発生時に対応）
- 感染症対策として、車内の消毒、換気等の従来の取組に加え、2席1名利用を実施

< 感染症対策 >

- ・外気換気モードによる
エアコンの使用を基本とし
利用者の協力を得て、現場
判断により随時窓の開放を
実施（車内換気の徹底）
- ・マスク着用の徹底
- ・運行中の車内換気
- ・2席1名利用 等

< 車内環境イメージ >



< 通勤ライナーの主なサービス >



< パーク&バスライドのイメージ >



3. 通勤ライナーの運行ルートの特徴(読谷ルート)

- 「読谷ルート」は、読谷バスターミナルを出発し、国道58号を通行し、嘉手納、北谷を経由して県庁北口、那覇空港に至るルートである。
- 読谷村の中央駐車場（無料・先着10台/日）、イオンタウン読谷座喜味の駐車場（無料・先着10台/日）の駐車場を活用することで、バス停まで距離のある方、家族等の送迎が必要な方でも、マイカーとバスの組み合わせで通勤が可能となる（パーク＆バスライド）。

< 運行時刻 >

読谷バスターミナル	高志保	上地	読谷中学校前	伊良皆	嘉手納	嘉手納町役場	航空隊入口	謝刈入口	北谷	上之屋	泊高橋(58号線)	農林中金前	県庁北口	那覇空港
6:30 6:53	6:31 6:54	6:34 6:57	6:38 7:01	6:40 7:03	6:44 7:07	6:45 7:08	6:52 7:15	7:00 7:23	7:01 7:24	7:35 7:58	7:36 7:59	7:40 8:03	7:45 8:08	8:05 8:28
19:30 20:15	19:26 20:11	19:23 20:08	19:20 20:05	19:15 20:00	19:09 19:54	19:08 19:53	18:59 19:44	18:52 19:37	18:50 19:35	18:15 19:00	18:13 18:58	18:08 18:53	18:05 18:50	17:55 18:40

< 料金表 >

バス停	上之屋	泊高橋	農林中金前	県庁北口	那覇空港 (国内線旅客ターミナル前)
読谷バスターミナル	¥1,030	¥1,030	¥1,060	¥1,100	¥1,180
高志保	¥1,010	¥1,010	¥1,040	¥1,080	¥1,160
上地 (イオンタウン読谷座喜味)	¥990	¥990	¥1,020	¥1,070	¥1,150
JAゆんた市場	¥910	¥910	¥940	¥1,000	¥1,080
伊良皆	¥860	¥860	¥890	¥950	¥1,030
嘉手納	¥800	¥800	¥840	¥890	¥970
嘉手納町役場	¥800	¥800	¥840	¥890	¥970
航空隊入口	¥690	¥690	¥720	¥780	¥860
謝刈入口	¥590	¥590	¥630	¥690	¥770
北谷	¥570	¥570	¥610	¥670	¥750

< 運行ルート >



4. 通勤ライナーの運行ルートの特徴(具志川ルート)

- 「具志川ルート」は、具志川バスターミナルを出発、国道330号を通行し、伊佐より国道58号を經由して県庁北口、那覇空港に至るルートである。(23番等に該当するルート)
- うるま市役所及びうるま市健康福祉センター(うるみん)の協力を得て、「うるみん」の立体駐車場を10台分無料/日で利用できるため、バス停まで距離のある方、家族等の送迎が必要な方でも、マイカーとバスの組み合わせで通勤が可能となる(パーク&バスライド)

< 運行時刻 >

具志川バスターミナル	6:15	6:18	6:25	6:30	6:33	6:38	6:42	6:46	6:53	7:26	7:29	7:33	7:36	7:51
	6:40	6:43	6:50	6:55	6:58	7:03	7:08	7:12	7:22	7:52	7:55	8:00	8:03	8:18
安慶名														
中部病院前														
美里入口														
コザ														
胡屋														
山里														
比嘉西原														
普天間														
上之屋														
泊高橋(58号線)														
農林中金前														
県庁北口														
那覇空港														

< 料金表 >

バス停	上之屋	泊高橋	農林中金前	県庁北口	那覇空港 (国内線旅客ターミナル前)
具志川バスターミナル	¥1,050	¥1,050	¥1,070	¥1,120	¥1,180
安慶名	¥970	¥970	¥990	¥1,040	¥1,140
中部病院前	¥870	¥870	¥900	¥960	¥1,050
美里入口	¥830	¥830	¥860	¥930	¥1,010
コザ	¥800	¥800	¥840	¥890	¥990
胡屋	¥760	¥760	¥790	¥850	¥940
山里	¥710	¥710	¥740	¥800	¥880
比嘉西原	¥710	¥710	¥740	¥800	¥880
普天間	¥570	¥570	¥610	¥670	¥690

< 運行ルート >



5. 通勤ライナーの運行ルートの特徴(南城ルート)

- 「南城ルート」は、南城市役所内のバス停留所を出発し、国道329号等を通行（バス専用レーン、バス専用道路）して県庁南口、那覇空港に至るルートである。（37番等に該当するルート）
- 南城市役所の公共駐車場（1回100円・台数制限なし）、イオン南風原店では地下駐車場（無料・先着5台/日）を活用することで、バス停まで距離のある方、家族等の送迎が必要な方でも、マイカーとバスの組み合わせで通勤が可能となる（パーク&バスライド）。

< 運行時刻 >

南城市役所	新開	馬天入口	与那原	宮平	開南	県庁南口	那覇空港
7:15 7:45	7:20 7:50	7:22 7:52	7:31 8:01	7:35 8:05	7:54 8:24	7:56 8:26	8:09 8:39
18:58 19:28	18:53 19:23	18:51 19:21	18:43 19:13	18:38 19:08	18:18 18:48	18:15 18:45	18:06 18:36

< 料金表 >

バス停	開南	県庁南口	那覇空港 (国内線旅客ターミナル前)
南城市役所	¥660	¥660	¥740
新開	¥590	¥590	¥670
馬天入口	¥560	¥560	¥640
与那原	¥440	¥440	¥520
宮平	¥390	¥390	¥470

< 運行ルート >





令和3年12月24日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

「レンタカー不足に対応した公共交通機関の活用呼びかけ」

～年末年始の沖縄観光でレンタカーを利用できない観光客に公共交通機関の活用を呼びかけ、
沖縄観光における円滑な移動の確保、満足度向上を目指します～

沖縄県内におけるレンタカーの現状として、新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度より、観光客の受け入れ激減に伴い、各レンタカー営業所の一部閉鎖や大幅な減車が発生しています。

一方で新型コロナウイルス感染状況が落ち着いてきたこともあり、沖縄への観光客入域数が回復の兆しを見せていることから、レンタカーへの需要が高まり、特に年末年始については、レンタカー不足の問題が顕在化してきております。

年末年始に観光客が沖縄県内での移動に困らないようにするため、沖縄総合事務局では、以下の取組を通じて、レンタカーを利用できない場合の公共交通機関（モノレール、バス、タクシー、旅客船等）の活用呼びかけを行っています。

- ① 沖縄県及び一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下 OCVB）が発信している沖縄観光情報 WEB サイト「おきなわ物語」に掲載されているレンタカー不足対策特集「レンタカーだけじゃない！おきなわ旅の楽しみ方（レンタカー以外の交通手段）」を拡充して頂き、公共交通機関運行情報サイト（「のりもの NAVI」「バスマップ沖縄」）や各種 MaaS 情報へのリンク等を掲載し、情報を集約。
- ② 観光関係団体（旅行業、交通機関、観光施設、宿泊施設）を通じて各事業者に、公共交通機関情報について周知徹底することを協力要請するとともに、観光関係団体及び各事業者の HP から上記 OCVB の WEB サイトへのリンクを促すことで、公共交通機関情報の輪を広げる。

沖縄への観光客にレンタカーだけではなく公共交通機関も利用して頂くことで、円滑な移動を確保できる環境を観光関係者一丸となって醸成し、沖縄滞在時の満足度向上を目指してまいります。

沖縄県・OCVB 関連サイト「おきなわ物語（沖縄観光情報 WEB サイト）」

■ レンタカーだけじゃない！沖縄旅の楽しみ方

https://www.okinawastory.jp/feature/other_traffic

（サイト記載内容一部抜粋）

レンタカーだけじゃない！沖縄旅行を楽しむ交通手段

沖縄旅行の交通手段はレンタカーが主流でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でレンタカー登録台数が減少傾向と言われています。でも大丈夫！さまざまな交通手段があるので旅のスタイルにあわせて選ぶことができます。

モノレール／バス・高速船／タクシー／レンタルサイクル・レンタルバイク

【問い合わせ先】

沖縄総合観光施策推進室

担当：齋藤・古謝・上間

TEL：098-866-1812（直通）

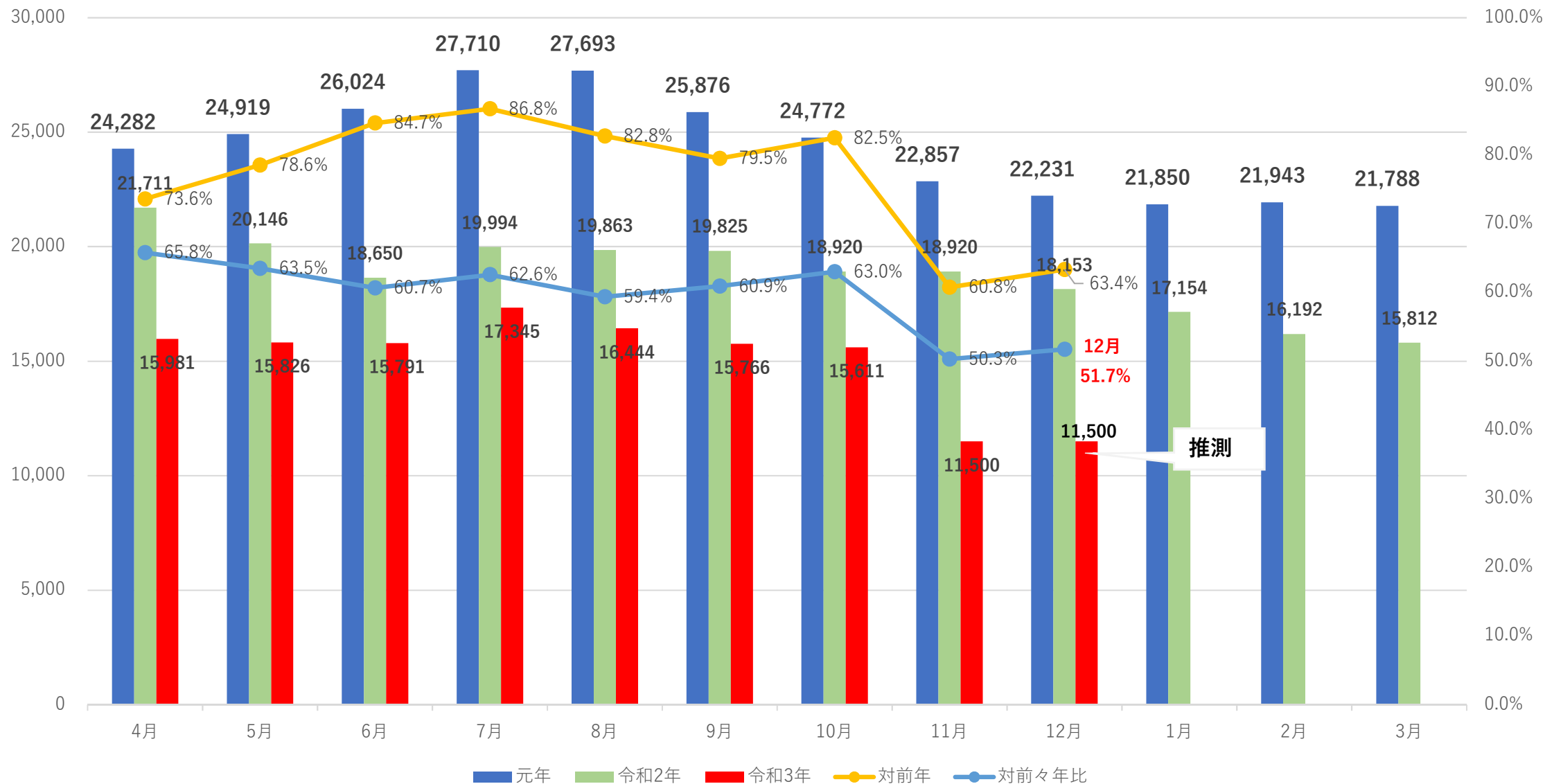
FAX：098-860-2369

E-mail：yunyu-kikaku.j2a★ogb.cao.go.jp

※「★」を「@」に置き換えて送信してください。

1. 沖縄県レンタカー協会会員 レンタカー車両台数

沖縄県レンタカー協会会員における令和3年12月の車両台数は11,500台。(対前々年比51.7%)



提供：一般社団法人沖縄県レンタカー協会

2. OCVB「おきなわ物語」サイト情報

■ 一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー（以下OCVB）

<https://www.ocvb.or.jp/> ➡ トップページ下段、「OCVB関連サイト」内、「おきなわ物語」バナーをクリック

The screenshot shows the OCVB website interface. At the top, there are navigation links for Organization, Activities, Offering, Business, and Recruit. Below this is a banner for '奄美・沖縄「世界自然遺産」登録決定!'. To the right, there is a '公式SNS' (Official SNS) section with links to Facebook, Instagram, Twitter, and YouTube. Below that is the 'OCVB関連サイト' (Related Websites) section, which contains several banners. A red dashed box highlights the 'おきなわ物語' (Okinawa Story) banner, and a red arrow points to it with the text 'ここをクリック!' (Click here!).

■ 沖縄観光情報WEBサイト「おきなわ物語」

https://www.okinawastory.jp/contents/other_traffic ➡ 画面トップの特集画面をクリック

The screenshot shows the 'Okinawa Story' website. The top navigation bar includes links for '沖縄まるわかり', '特集' (Featured), 'モデルコース', 'イベント', 'スポットサービス', 'グルメ', '宿泊', '交通アクセス', and 'マハエ プログ'. Below the navigation bar is a '重要なお知らせ' (Important Notice) section. The main content area features a large image of a traditional Okinawan building and a person riding a bicycle. To the right of the image is a text box titled 'レンタカーだけじゃない！ 沖縄旅行を楽しむ交通手段' (It's not just rental cars! Transportation methods for enjoying Okinawa travel). The text explains that while rental cars are popular, the impact of COVID-19 has led to a decrease in rental car numbers, but there are many other transportation options available. At the bottom, there is a row of icons for different transportation methods: モノレール (Monorail), バス・高速船 (Bus/High-speed ship), タクシー (Taxi), and レンタサイクル レンタバイク (Rental bicycle/Rental motorcycle).

●各交通手段のバナーに入ることによって便数や路線マップ、所要時間、料金などが分かり、各社のHPサイトにつなげています。

3. 公共交通運行情報サイト等の概要(その1)

■ バスマップ沖縄

<http://www.kotsu-okinawa.org/index.html>

➡バスマップ、時刻表、運賃、乗り方、のりば等を掲載。
紙のバスマップも作成、配布しています。

バスマップ沖縄





トップページ	本島中南部	那覇市周辺	空港・高速系統	本島北部周辺	本島周辺の島	宮古諸島	八重山諸島
船舶案内	バスの運賃	バスの乗り方	主なバスのりば	当団体について	お問い合わせ	ENGLISH Page	

このサイトでは、沖縄県内の公共交通情報を扱っています。
マップ、時刻表はこちら→ マップ一覧 時刻表一覧

■ のりものNAVI Okinawa (旧・バスナビ沖縄)

<https://www.busnavi-okinawa.com/top>

➡リアルタイム運行情報 (遅れ情報) を提供。

沖縄本島 路線バスをゆいレール・総合案内システム

のりものNAVI Okinawa

旧・バスナビ沖縄

日本語 GO シンプルモード

 乗り換え案内  接近案内  バスの現在地  詳しくみる

沖縄の乗り換え案内をもっと楽しく快適に！

のりものNAVI Okinawa

ベータ版



出発地と目的地をお選びください。

出発地 おもろまち駅前

目的地 コザ

別の条件で再検索する

自動更新  時刻表

のりば変更 21:38現在

おもろまち駅前 (内開・沢路向け)

▼ 近所

バス会社系統番号 通過停留所・停車停留所(番) 終点停留所

21:46 知花線 上り 見沼川口 あと9分と到着

22:11 知花線 上り 見沼川口 あと3分と到着

22:11 知花線 上り 見沼川口 あと3分と到着



バスの現在位置を検索

1 系統を選択 90 知花線

2 路線を選択 知花線 下り

3 経由を選択 全停留所表示

現在位置を表示する

31 [知花線 上り 見沼川口] [時刻表] [日] [時] [分]

32 [知花線 上り 見沼川口] [時刻表] [日] [時] [分]

33 [知花線 上り 見沼川口] [時刻表] [日] [時] [分]

34 [知花線 上り 見沼川口] [時刻表] [日] [時] [分]

35 [知花線 上り 見沼川口] [時刻表] [日] [時] [分]

36 [知花線 上り 見沼川口] [時刻表] [日] [時] [分]



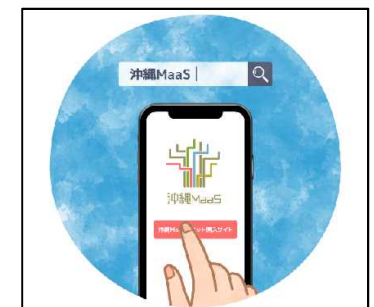
接近案内

バスの現在地

3. 公共交通運行情報サイト等の概要(その2)

■ 沖縄MaaS

<https://service.paycierge.com/okinawa-maas/> ➡ モノレールやバス、フェリーのチケットをオンラインで購入可能。観光スポットやアミューズメント施設とも連携。

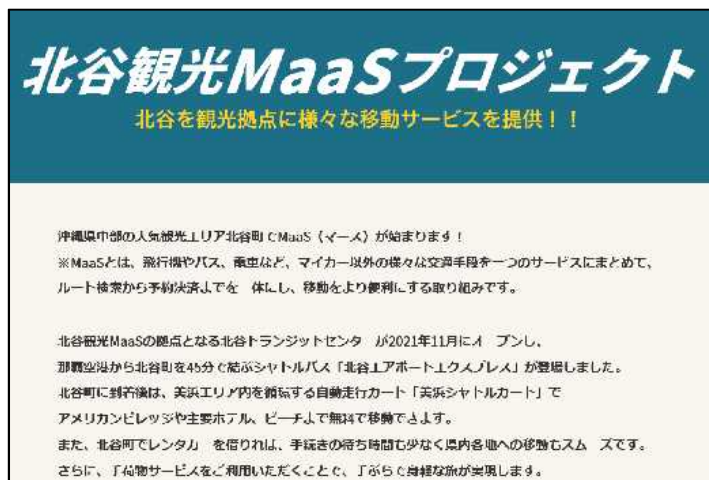


(アプリ操作でアクセス)

■ 北谷観光MaaSプロジェクト

<https://www.chatamobi.com/chatan-maas.php>

➡ 那覇空港から北谷町を45分で結ぶシャトルバス「北谷エアポートエクスプレス」が運行中。北谷町内では自動走行カートを使用。





内閣府

令和 3 年 12 月 24 日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

沖縄総合観光ポータルサイトの運用について

沖縄総合事務局が本年 4 月に開設した観光ポータルサイトについて、緊急事態宣言下の出張や、市町村への作業依頼に際し丁寧さを欠いた対応となっていたこと等に係る指摘を大臣等から受けたことから、今般、サイトの意義やあり方等について有識者から意見を伺い、今後の方向性を取りまとめた。

1 サイト概要

- ・名称： 沖縄総合観光ポータルサイト（オキナワンパールズ）
- ・ねらい： コロナ収束後の旅行需要の回復を見据え、旅行客誘客の取組の一環として開設
- ・掲載内容： ガー（井戸・湧水）、グスク、史跡、戦跡、名勝、ダム、酒造所など、いまだ知られていない沖縄の魅力を発信
- ・情報量等： 収集素材 4 千件、サイト掲載数 631 件、ユーザー数 3 万人

2 有識者ヒアリングの結果

観光関係、市町村関係、学識経験者等の専門家 15 名から意見を聴取

(1) サイトの意義、在り方

- ・他サイトでカバーしていないテーマ性をもったサイトは必要。コアなサイトとしての魅力は十分にある
- ・地域の魅力を再認識する場、地域の歴史学習のコンテンツとして活用可能
- ・公的機関が運用する必要性、サイトコンセプトの明確化が必要
- ・外部関連サイトへのリンク等、外部との連携が今後の検討課題

(2) 市町村の負担軽減

- ・市町村との丁寧なコミュニケーション
- ・地元意向の尊重
- ・原稿作成に係る専門人材（学芸員等）の活用

(3) 質の確保

- ・サイトのアクセシビリティの改善が必要
- ・サイトがどれくらい利活用されているかの検証が必要
- ・掲載内容については専門家の内容確認が必要

有識者から寄せられた意見について
(沖縄総合観光ポータルサイト)

1 サイトの意義、在り方

(1)他サイトでカバーしていないテーマ性をもったサイトは必要

- ・地域住民でもなかなか分からないコアな部分が見どころで、県民の興味関心を引き出すきっかけにもなるかもしれない。(桑江朝千夫)
- ・他サイトでカバーしていないテーマ性をもったサイトは必要。コアなサイトとして、コンテンツとしての魅力は十分にあると思う。(杉本健次)
- ・ダイナミック、華やかさに欠けることは否めないが、歴史、文化に興味関心を持つ人には響くかもしれない。(田中里沙、津田令子)
- ・観光ニーズは多様化。定番の観光地以外に、穴場的な場所を求めて観光客は訪問。サイトには一定のニーズはあると思う。(高良倉吉、東良和)
- ・一般的な観光地だけでなく、県民も行ったことがないような場所も取り上げていて、幅広い範囲での深い情報になっていると思う。(下地芳郎)

(2)地域の魅力を再認識

- ・サイトは地域の魅力、強みを再認識する場としての活用も可能と思われる。(上里隆史)
- ・地元の人にも知られていない場所は、逆に地元の人に評判になると思う。地元再発見の延長線上に観光客も来るということも意識した方がよい。(東良和)

(3)地域の歴史・文化の承継

- ・子供たちの自由研究や、地域の歴史学習に役立つコンテンツを提供するような活用も可能と思われる。(上里隆史)
- ・修学旅行の素材や一般観光客の新しい情報元にもなると思う。(杉本健次)
- ・サイトは、失われつつあるものを残し、伝えるという役割もあるように思われる。(高良倉吉、島田勝也)

(4)サイトの課題

- ・公的機関がなぜこのサイトを作るのか、説明が必要だと思われる。(越智正樹)
- ・どのような層をターゲットにしているのか分かりづらい。(平良朝敬、有木真理)
- ・誰のために何のために、何を目指して作るのかを明確にして、コンセプトとルールに則った取材や記事を求める人に届くようにすることが重要。(開梨香)

- ・情報発信に先立ち、サイト運用におけるルールと訪問時の心得等のルール整備が必要。(開里香)
- ・沖縄物語(OCVB 運用)の棲み分けというのが難しいと感じた。歴史、文化、自然に特化したサイトとして存在するのであれば、もっと全面に出してはどうか。(有木真理)
- ・県市町村、関連企業等の外部サイトにリンクを貼るなど、外部との連携が今後の検討材料だと思う。(下地芳郎)
- ・極めてコアなサイトとして、埋もれないコンテンツとしての魅力は十分にあるので、リンクなどを増やし、お客様が見る機会を増やすことへの対策は必要だと思う。作るのと同じくらい、告知に力を入れるべき。民間の力を借りても良いのでは。(杉本健次)

2 市町村の負担軽減等

(1)専門人材の活用

- ・市町村の負担軽減、質の確保から、サイトの原稿作成は、専門人材(学芸員等)を活用してはどうか。(上里隆史、島田勝也、開梨香、田中里沙)

(2)市町村への丁寧な説明

- ・スケジュールがタイトだったり、作業が煩雑だったりすると継続も難しい。丁寧にコミュニケーションを取りながら進めてほしい。(桑江朝千夫、宮里哲)
- ・今後のサイト運用については、改善点や今後の進め方について、市町村等へ説明し、理解を得て自前の運用を続けるか、他機関へ譲渡するしかない。移譲の際は、サイトへの思いをしっかりと引き継ぐ必要がある。(島田勝也)
- ・市町村によって協力度合に差があると思うが、協力してもらえる市町村を優先してサイト掲載を進める事が大事。(津田令子)

(3)地域の意向の確認

- ・一旦サイトに掲載され、人々に注目されると、後から入域制限をかけようとしても困難。掲載にあたっては、市町村はじめ、地域の意向を十分に確認する必要がある。(高良倉吉、下地芳郎、平良朝敬)
- ・コンテンツの文章について、地域ならではの文言や言い回しがあったりするので、市町村の話をよく聞いてほしい。(桑江朝千夫)
- ・拝所や聖域などは、特定の時期や特定の人しか行けないような場所もある。このあたりについて、しっかり地域の意向を確認する必要がある。(宮里哲)

3 質の確保

(1)専門家の活用

- ・歴史、民俗、自然など、専門家に掲載内容を確認してもらう必要があると考える。(津田令子、島田勝也、開梨香)
- ・文章をライターに作成させる場合は、なるべくその地域の歴史的な背景も熟知している方に依頼するのが望ましい。(越智正樹)

(2)サイトのアクセシビリティの改善

- ・現状はアーカイブのような形で情報が羅列している状態で初心者が使いこなすのは難しい。推奨コースの紹介など、簡単にアクセスできる仕組みが必要。(上里隆史)
- ・エリア別の案内マップがあったら便利。利用者目線で見やすく分かりやすく、訪れてみたいと思わせるような見せ方の工夫は必要と思う。(與座嘉博)
- ・ガー(井戸・湧水)や御嶽など、言葉の意味や解説が必要。言葉の意味や歴史的背景等の理解が深まると、さらに興味関心がわく。(上里隆史)
- ・各エリアの全体的な歴史の紹介があって、各コンテンツがあるというように、誘導の工夫が必要。(越智正樹)
- ・一人旅、自然に触れたい、琉球文化を楽しむなど、どういうシーンを楽しむかといったカテゴリで整理するのもよいと思う。(有木真理)
- ・サイト情報は繋がりや広がりが少なく、辞書的に感じる。(下地芳郎)

(3)サイトの効果測定

- ・サイトへの要望、満足度など、市町村アンケートの実施や、コミュニケーションの専門家に満足度を検証してもらうのもよい。(島田勝也、田中里沙)
- ・アクセスログを解析し、訪問者の属性を把握することも必要だが、サイトの訴求対象とする人たちから、意見、感想を聞くことが重要ではないか。(開梨香)

4 その他

(1)情報発信の工夫

- ・検索結果連動広告やSNS活用、写真コンテストの開催などの工夫が必要。(田中里沙)
- ・一般への認知度が低いと思われる。周知方法を工夫した方がよいと思う。(與座嘉博)

(2)テーマ性、ストーリー性のある情報の発信

- ・沖縄総合事務局では、過去にダムなどインフラ施設を観光するインフラツーリズムに注力していて、評判良かった。局ならではの情報発信を期待。(下地芳郎)

- ・エッグ岩は、ペリー一行が金武に来たとき、岩にある海鳥の卵を見て、エッグと言っていたことに由来するとの逸話がある。観光客はストーリーを求めてやってくる。(高良倉吉)
- ・県内酒造所では、地域との繋がりや歴史などのヒストリーを語れる酒造所がある。コンテンツは、ストーリー性を持たないと魅力に欠けてしまう。(與座嘉博)
- ・掲載基準を作成し、何をどこまでやるか方針を決めるといいと思う。(下地芳郎)

(3)双方向のコミュニケーション

- ・マニアックな観光資源については、地元ガイドなどの詳しい人にチャットで問い合わせできる等、コミュニケーションがとれる仕組みがあると、集客にもつながるし、ガイドの収入源にもなる。人材の掘り起こしも出来ると面白いと思う。(東良和)

(4)掲載内容の充実

- ・伝統行事、伝統工芸品、伝統芸能についても掲載してはどうか。色味が少し地味なので、花などの季節ものを掲載してはどうか。(平良朝敬)
- ・地域貢献と関係人口を増やしていくためのサイトであるという存在意義をもっと前面に出す。その上で見せる側と見る側双方でコミュニティを図れるサイトにすれば活きたものになるのではないかとと思う。(越智正樹)
- ・酒造工場のサイト内の掲載数が少ないように感じるので是非、増やして欲しい。県内で47箇所はあると思う。(與座嘉博)
- ・県内各地の博物館、資料館を一覧で紹介しているサイトが存在しないので、当該情報の掲載を検討して欲しい。(上里隆史)
- ・宿泊施設、食も観光資源なので掲載してはどうか。食事については「琉球料理」にフォーカスし食文化の発信をするといいと思う。(平良朝敬)
- ・コース設定や所要時間が表示される機能があると観光客の動機づけにもつながると思う。(平良朝敬)
- ・参考文献や出典等についても明確にしておくと思う。(桑江朝千夫)
- ・サイト上で歴史、文化など訪れたスポットをチェックし、ステータスが上がって楽しめるといった仕組みがあれば、リピーター獲得にもつながるのではないかと。(有木真理)

(5)他機関との連携等

- ・観光協会との関わり方も重要。まち歩き事業への活用も有効だと思う。(與座嘉博)
- ・観光庁、JNTOとの連携、大学の民俗学の先生や各市町村の学芸員など、一緒に連携してくれる人を掘り起こすことも大切。(津田令子)
- ・多言語化は必要。少子高齢化や人口減少で国内観光客の拡大が見込めない中、海外

へ目を向けないといけない。特に欧米は歴史・文化に興味がある人が多いため、そこへのアプローチは重要と考える。(宮里哲)

- ・立入禁止や駐車場がないことなどの情報をきちんと伝えることも大事(有木真理)

(6)サイト名称(沖縄総合観光ポータルサイト)

- ・サイトの名称から歴史や文化に特化しているサイトだと分かるような形にし、差別化を図ってはどうか。(宮里哲)
- ・サイト名称と掲載内容が合致していないと感じるところがあるので、観光の名称を外したほうがよいと思う。(開梨香)
- ・沖縄総合観光ポータルサイトという名称の割には総合力が乏しい気がする。総合と称しているからには MaaS 的な仕組みもないといけないのではないか?(東良和)

※MaaS (Mobility as a Service) : 地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。

- ・オキナワンパールズという名称が、設定しているターゲットに届く名称になっているのかを改めて考える必要があるかもしれない。(下地芳郎)
- ・サイト名称について、「観光」というワードがないと検索してもヒットしない。サイトを広めるためにもまずは間口を広くしておく必要があるかと思う。(津田令子)

(※肩書・敬称略)

ヒアリング対象者一覧

(観光関係(5名))

下地 芳郎	沖縄観光コンベンションビューロー会長
杉本 健次	株式会社 JTB 沖縄代表取締役社長
平良 朝敬	沖縄県ホテル協会会長
東 良和	沖縄ツーリスト株式会社 代表取締役会長
與座 嘉博	日本旅行業協会(JATA)沖縄支部長

(市町村関係(2名))

桑江朝千夫	沖縄県市長会会長(沖縄市長)
宮里 哲	沖縄県町村会会長、沖縄県離島振興協議会会長(座間味村長)

(学識経験等(8名))

有木 真理	リクルートライフスタイル沖縄代表取締役社長
上里 隆史	歴史研究家・地域活性化伝道師
越智 正樹	琉球大学国際地域創造学部観光地域デザインプログラム教授
島田 勝也	沖縄大学地域研究所特別研究員
高良 倉吉	琉球大学名誉教授
田中 里沙	学校法人先端教育機構事業構想大学院大学学長
津田 令子	トラベルキャスター 旅行ジャーナリスト・旅行作家
開 梨香	株式会社カルティベート代表取締役社長

(敬称略・五十音順)

(4) その他

- ・ 積極的な広報
- ・ 訪問者の書き込みなど双方向でやり取りができる仕組みの構築
- ・ 関係機関との連携

3 今後の方向性

(1) まとめ

- ・ サイトは県内 41 全市町村をカバーする。国が市町村と連携して構築することで、観光振興、市町村支援のツールとして、大いに活用し得るものである。
- ・ 有識者ヒアリングでは、サイトについて一定の評価やその有効活用を求める声があった。他方、市町村の負担軽減、サイトコンセプトの明確化、アクセシビリティの改善、積極的な広報などが課題であるとの声があった。
- ・ 有識者の意見を踏まえ、観光の質的向上のみならず、地域の魅力の再認識による地域活性化の観点にも立ち、次の点を改善し、沖縄総合事務局で継続して運用していくこととしたい。

(2) 改善点

- ・ 市町村との丁寧なコミュニケーション
- ・ 地元意向の尊重
- ・ 余裕をもったスケジュールの設定
- ・ 原稿作成における専門人材（学芸員等）の活用
- ・ サイトのアクセシビリティの改善
- ・ 関係機関との連携と積極的な広報

(3) 今後の予定

- ・ 利便性の向上を図るため、ウェブ上にある多くの情報から必要としている情報を簡単に検索し、探し出せるようなサイトとなるよう、工夫を重ねていきたい。
- ・ サイトの名称やサイトがどれくらい利活用されているのかという検証など、サイトの運用状況を見つつ定期的に有識者から意見を聞き、改善を図っていくこととしたい。

お問い合わせ先（内閣府沖縄総合事務局）

- ・ 沖縄総合観光施策推進室（齋藤、古謝） 電話：098-866-1812 FAX：098-860-2369
- ・ 沖縄市町村施策支援室（波平、棚原） 電話：098-866-0047 FAX：098-860-1025

2021 重大 News



沖縄総合事務局

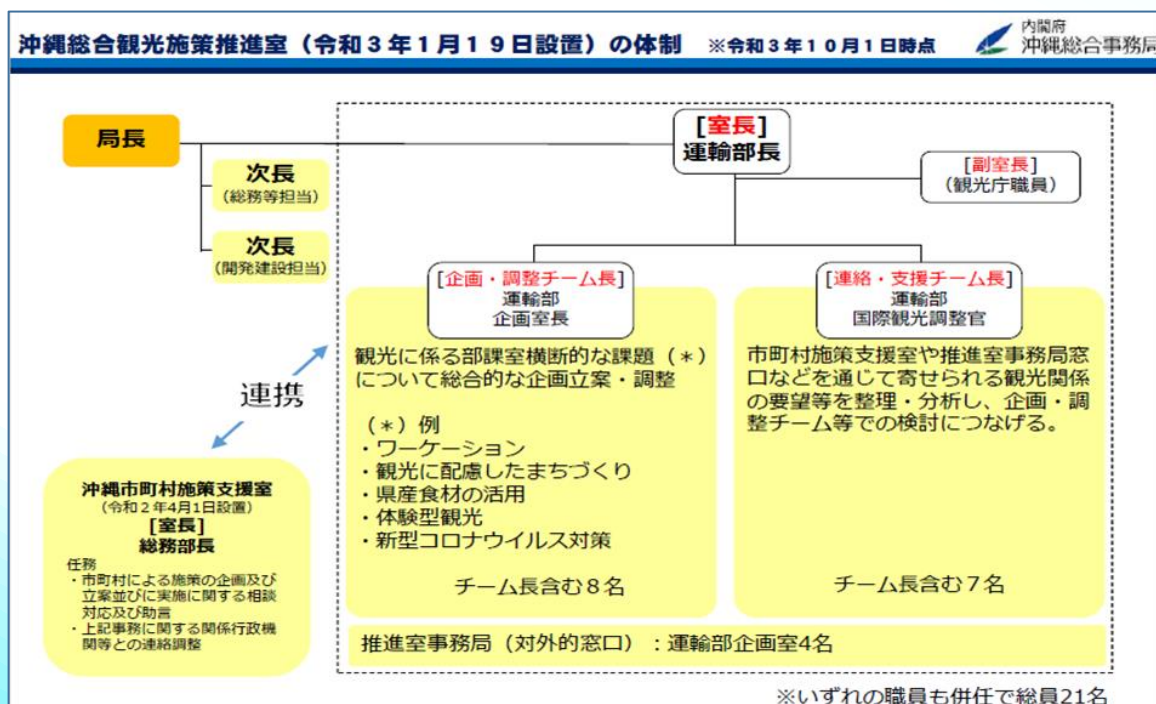
「沖縄総合観光施策推進室」の発足

2021.01 【運輸部】

市町村等からの観光に関するニーズを的確に吸い上げ、沖縄県内における国の部課室横断的な連携を推進することにより、観光施策の企画・立案・調整を積極的に行う体制を強化するため、令和3年1月19日に「沖縄総合観光施策推進室（以下「推進室」という。）」が発足しました。

推進室では、コロナ禍で危機的な状況にある観光業界に対しオンライン説明会で各種支援措置を紹介する等の支援を行うとともに、国際的・全国的な視点に立ち、沖縄観光において先端的・モデル的な取組事例を創出することを目指した取組を行ってまいります。

■沖縄総合観光施策推進室（令和3年1月19日設置）の体制



【推進室看板掛けの様子】



【推進室打合せの様子】

県内の国の合同庁舎に コンビニが初出店

～市町村の特産品販売コーナーを併設～

2021.02 【総務部】

本年2月、那覇第二地方合同庁舎2号館（沖縄総合事務局）1階に、国の合同庁舎では県内初のコンビニ参入となる沖縄ファミリーマートがオープンしました。

コンビニのオープンにより、飲食物の販売はもとより、要望が多かったATMやマイナンバーカードによる各種証明書を取得できる機器が設置され、来庁者等の利便性の向上が図られています。

また、当局では、昨年4月に「沖縄市町村施策支援室」を設置し、市町村による沖縄振興施策の企画立案を積極的に後押しするとともに、各圏域市町村等に対する相談体制を強化し、市町村の支援に取り組んでおり、その一環として、沖縄ファミリーマート様のご協力により、県内各市町村の特産品の販売を行っています。



那覇第二地方合同庁舎サテライト店オープンセレモニー
(左から 野崎社長、吉住前局長、ミス沖縄岩本華奈さん)



特産品販売セレモニーの様子

(左から 宮城大宜味村長、吉住前局長、ミス沖縄山里ひかるさん、當山東村長)

本庁舎には、県民の皆様、県内外からの出張者や事業者の皆様も多数来庁していただいております。また、令和5年度には、本合同庁舎敷地内に3号館も完成することから、県産品を県内外にアピールし、認知度を向上させる発信地になると考えています。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、沖縄県の経済はかつて経験したことのない深刻な状況に直面しており、特に沖縄経済のリーディング産業である観光関連産業は非常に厳しい状況となっておりますので、各市町村の特産品の販売を通して、市町村の支援のみならず、観光産業への後押しになるよう取り組んでまいります。



ミス沖縄新里瑞紀さんおすすめ



パイナップルマン1号
(東村)

おおぎみシーちゃん
(大宜味村)

キョンキョン
(国頭村)

これまで、第1回（石垣市・竹富町・与那国町）、第2回（国頭村・大宜味村・東村・伊江村・伊平屋村・伊是名村・西表島）、第3回（読谷村・北谷町・沖縄市・うるま市）、第4回（南城市・八重瀬町・南風原町・与那原町・北大東村・南大東村）の計19市町村の特産品を販売し、今後2年間で県内全市町村の特産品の販売を予定しています。

沖縄版・企業支援による コロナへの挑戦

2021.02 【財務部・経済産業部】

沖縄総合事務局は、コロナ禍の中、経営課題に直面する事業者に対して、金融機関、信用保証協会、中小企業再生支援協議会など、支援機関が連携を強化して、経営改善・事業再生・事業転換支援等を行うためのノウハウを醸成するセミナーを開催し、沖縄県経済の力強い回復に繋がるよう後押ししています。2021年は、地域金融機関や支援機関の役職員等を対象として事業再生支援等の知見・ノウハウを醸成するセミナーを計3回開催しました。

当局では、今後も、企業支援機関向けのセミナーを継続して実施するなど、持続的な地域経済エコシステムの形成、コロナ後の経済の力強い回復を後押ししていきたいと考えています。

「伴走型企業支援、企業再生支援、 地域サービサーによる支援」(R3.2.19 開催)



<https://www.youtube.com/watch?v=JbxZTXNxM6M>

「事業承継支援」(R3.6.4 開催)

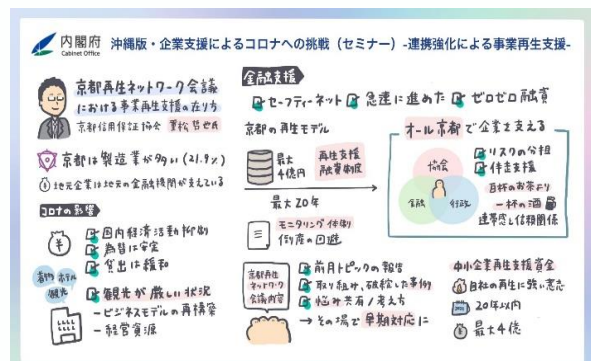


https://youtu.be/M7k_oX9NRz8

「連携強化による事業再生支援」(R3.10.8 開催)



<https://youtu.be/fLgP8So0ktc>



http://www.ogb.go.jp/zaimu/zaimu_renkei/seminar3

※基調講演の様様・講演資料等は、沖縄総合事務局ホームページより閲覧・ダウンロード可能。

http://www.ogb.go.jp/zaimu/zaimu_renkei

琉球大学、名護市へ 国有財産を売却

～国有財産を活用した地域連携～

2021.03【財務部】

国有財産の売却に当たっては、国民共有の貴重な財産であることを踏まえた公用・公共優先の原則に基づき、地域と連携した国有財産の有効活用を通じ、地域・社会のニーズに対応しています。

☆「琉球大学医学部及び病院の移転整備用地」として売却

米軍より返還された西普天間住宅地区跡地に所在する国有地（約 11 千㎡）を「琉球大学医学部及び病院の移転整備用地」として活用するための売買契約調印式が 3 月 16 日（火）に行われ、琉球大学西田学長と吉住前局長が売買契約書に調印しました。



【完成イメージ図：琉球大学資料】

今後、琉球大学医学部と病院移転により、沖縄の医療体制の中核となる施設が整備され、高度医療や研究機能の充実、地域医療水準の向上などにつながることが期待されています。



【調印式の様子】

☆「名護市ワーケーション拠点施設」として売却

名護市字喜瀬部瀬名原に所在する旧沖縄総合事務局研修所等の土地（約 16 千㎡）・建物を「名護市ワーケーション拠点施設」として活用するための売買契約調印式が 3 月 25 日（木）に行われ、渡具知名護市長と吉住前局長が売買契約書に調印しました。



【旧沖縄総合事務局研修所の外観】

名護市が同施設を整備し、周辺リゾートホテル等と連携してワーケーションブランドを確立させ、新しい働き方としてのワーケーション需要を取り込むことで、来訪者及び観光収入の増加や、企業誘致につながることが期待されています。

名護市ワーケーション拠点施設整備に係る
国有財産の売買契約調印式

内閣府沖縄総合事務局・名護市



【調印式の様子】

国道 329 号 西原バイパス 令和3年度から新規事業化

2021.04 【開発建設部】



なかぐすくそん にしはらちょう おなほ
中城村及び西原町における国道 329 号は、生活交通と物流交通が混在し、主要渋滞箇所である小那覇交差点では、朝夕を中心に交通渋滞が発生し、地域の産業振興、経済活動を行ううえで大きな障害になっています。また、大雨により近隣河川の増水による道路冠水のため、国道の全面通行止めも発生しています。

このような背景のもと、交通の円滑化、災害時に強い道路ネットワークの確保、産業振興、周遊観光の支援を図るため、バイパスの事業化に向けた各種手続きを進めてきました。平成29年度から計画段階評価に着手し、令和2年度の都市計画変更手続きを経て、令和3年度に新規事業着手し、現在は、調査設計を実施しています。

西原バイパスは、隣接する与那原バイパス、南風原バイパスと一体となり、中城湾港など東海岸地域から那覇市までのアクセス向上に大きく貢献する事業であり、早期開通に向けて事業を推進してまいります。



おなほ
写真:小那覇交差点渋滞状況



おなほ
写真:小那覇交差点付近冠水状況

令和３年７月３１日（土）、国道５８号名護東道路（世富慶ＩＣ～数久田ＩＣ間２.６km）が２車線開通となりました。名護東道路６.８kmの全線開通により、許田ＩＣ（沖縄自動車道）～伊差川ＩＣ（名護東道路）までノンストップでの走行が可能となり、北部地域や那覇空港等へのアクセスがさらに向上しました。



同日、道の駅「許田」では、海側の新たな駐車場とともに、道路情報ターミナルがリニューアルされました。道路情報ターミナルの展望テラスからは名護湾が一望でき、やんばるの自然を楽しみながら休憩していただける施設となっています。

北部地域へお越しの際は、是非、道の駅「許田」へお立ち寄り下さい。



道の駅「許田」
リニューアルオープン！！



展望テラスからの
名護湾の夕陽は「最高」です！！

伊良部島でスプリンクラーによる散水を開始

～地下ダムによる農業用水の安定供給が実現～

2021.08【農林水産部】

令和3年8月2日、国営かんがい排水事業「宮古伊良部地区」の受益地の一部である伊良部島で農業用水の散水式が開催され、受益者をはじめ、宮古土地改良区、沖縄県、沖縄総合事務局等の関係者約40名が出席しました。散水式では、主催者挨拶、来賓者祝辞に続き開栓セレモニーが行われ、その後散水が開始されました。

伊良部島では、大部分の農地は降雨に依存しており、島全体の必要水量を供給する水源が不足しているため、気象に大きく左右される農業経営を余儀なくされてきました。

このため、伊良部島における農業用水の安定的な供給を図ること等を目的として平成21年度から国営かんがい排水事業「宮古伊良部地区」を実施しています。本事業では、仲原地下ダムの整備をはじめ、伊良部大橋橋梁内にパイプラインを整備しました。併せて関連事業により畑地かんがい施設等の整備が進められ、令和3年7月までに県営「魚口地区」の一部農地においてスプリンクラーが整備され、農業用水の安定供給が実現しました。

今後、伊良部島において畑地かんがい施設が順次整備されることによって、農業経営の安定化と施設園芸などの高付加価値農業の展開が期待されます。

位置図



開栓セレモニー



散水の様子

沖縄県産黒糖の魅力を伝え 需要・販路拡大に向けた取組

2021.08 【農林水産部】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による沖縄県内への入域観光客やインバウンド需要の大幅な減少などに伴い、土産品となる沖縄黒糖や菓子類の原料として使用されている沖縄県産黒糖も大幅に需要が減少し、在庫が積み上がった状況が続いています。

そのような中、沖縄総合事務局は、「沖縄県産黒糖需要拡大・安定供給体制確立実証事業」を実施しています。

本事業の取組の一環として、本年8月5日に東京都で「沖縄県産黒糖・料理専門家評価会」を開催しました。当評価会では、日本料理、和菓子、イタリアン、フレンチ、パティシエの分野で活躍する料理専門家を招聘し、県内の離島8島で作られた黒糖を使ったオリジナル料理の創作を通じて、沖縄県産黒糖の魅力や新しい使い方を発表していただきました。どれも美味しいレシピとなっておりますので、ぜひ下記URLから動画をご覧ください。

また、本事業に関連して消費拡大にご協力を頂いた、株式会社セブン-イレブン・沖縄において、新たな沖縄県産黒糖関連商品の販売が11月30日から始まりました。新商品の「黒いメロンパン」、「黒糖ロールケーキ」など5つの商品が県内各店舗にて販売中です。ぜひご賞味下さい。

沖縄総合事務局としても、引き続き、沖縄県黒砂糖協同組合、J Aおきなわ、沖縄県などの関係機関と協力し、さらなる沖縄県産黒糖の消費拡大に取り組んでまいりますので、県民の皆様もご協力をお願いします。



評価会当日の様子は沖縄県黒砂糖協同組合のウェブサイトで公開しています

(前半 <https://www.youtube.com/watch?v=RP50ZDSDQjA>)

(後半 <https://www.youtube.com/watch?v=LkAMsj0HmrU>)

○料理専門家評価会で創作された黒糖使用料理の一部



沖縄アグーの黒砂糖赤ワイン角煮



モンブラン



クルミとかちわり黒糖の求肥包み

沖縄総合事務局が 「エコ通勤優良事業所認証」取得！

2021.10【運輸部】

沖縄県内では、通勤・通学など、日常の移動手段をマイカーに依存する傾向が強く、朝夕を中心に交通渋滞が発生しています。また、マイカー利用はバスの約2.5倍のCO₂を排出するため※、地球温暖化対策の観点からも、過度なマイカー依存からの脱却によるCO₂排出量の抑制が必要です。

さらに、バスやモノレールなどの公共交通はコロナ禍により極めて厳しい経営状況にあり、県民が公共交通を利用することにより、公共交通を支えていくことが必要な状況となっています。

沖縄総合事務局では、自らが率先して職員の「エコ通勤」を実施することで、波及的に企業や県民の公共交通利用に対する意識啓発になると考え、令和3年10月、「エコ通勤優良事業所認証」を取得しました。

「エコ通勤」とは、「クルマから、環境にやさしいエコな通勤手段に転換すること」です。事業所や地域で「エコ通勤」に取り組むことにより、従業員の安全確保や健康向上などといったメリットが期待されるとともに、渋滞解消や公共交通の維持など、地域にとってのメリットも期待されます。

「エコ通勤優良事業所認証」とは、エコ通勤に関する取組を自主的かつ積極的に推進している事業所を優良事業所として認証し、登録する制度です。公共交通利用推進等マネジメント協議会（認証制度事務局：国土交通省、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）にて認証・登録を行います。

クルマを降りれば、周囲の景色が変わります。自治体・企業・団体の皆様、一緒に「エコ通勤」を始めましょう！

バスや自転車通勤する職員



※環境：運輸部門における二酸化炭素排出量「2. 輸送量当たりの二酸化炭素の排出量」 - 国土交通省

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

テレワーク・ワーケーションの推進

ワーケーションウィークオキナワ (WWO) 初開催

ワーケーション連携協定制度設立

2021.11 【経済産業部・沖縄総合観光施策推進室】

温暖な気候や観光地としての魅力に優位性を持つ沖縄では、ワーケーションをきっかけとした関係人口の創出や、県外企業の沖縄進出、新たな産業創出、沖縄観光の滞在日数の延長に期待が高まっています。

内閣府沖縄総合事務局では、沖縄でのワーケーションの受入促進を目的に、11月13日～28日に「ワーケーションウィークオキナワ (WWO)」を初開催しました。「休暇だけの沖縄なんてもったいない。これからの、WorkとLifeを考える16日間。」をキーメッセージに、県内各地で46のイベント開催や、コワーキング利用促進キャンペーン、「ResorTech EXPO in OKINAWA 2021」にて県内58カ所あるコワーキング施設のPRを行いました。

また、企業との連携を推進するため、「ワーケーション連携協定制度」を設立しました。第一号で協定締結した「富士通 Japan 株式会社」は、WWO期間中に本社社員が読谷村と宮古島市にてワーケーションを行い、ワークショップを通じて自治体職員や地域の方々と一緒に地域課題の解決に取り組みました。

直前までコロナの影響で開催自体が危ぶまれましたが、多くのテレワーカーを実際に受け入れることで、アフターコロナを見据えたワーケーションの可能性を探ることができました。ワーケーションをきっかけとした、企業進出、長期滞在、移住定住、離島の活性化、人材育成など、ワーケーションの可能性は多岐にわたります。場所にとらわれない働き方がもたらす地域振興を、これからも推進してまいります。



「事業承継」

～輝く沖縄の未来に！ 次世代へ繋ぐバトン～

2021.11【経済産業部・財務部】

県内事業者等に対し、事業承継の大切さを訴えるため、沖縄県、県内金融機関等と連携し、初の取組として「事業承継啓発月間」を11月に開催しました。

抱腹絶倒のお笑い事業承継劇場の開催のほか、金融機関の頭取等によるトップ対談や啓発セミナーなど盛りだくさんのイベントを期間中に企画・開催し、地元メディアでも大きく取り上げられるなど、大きな反響がありました。

次年度以降も継続開催することにより、事業の継続を通じて、地域住民の暮らしを支えるほか、文化の創造等をはかり、地域の活性化につなげてまいります。



金融機関等トップ対談後
記念写真に納まる登壇者等



抱腹絶倒のお笑い事業承継劇場
「あぎじゃび商店」(FEC)

金融機関等トップ対談を大々的に報じる地元2紙（琉球新報・沖縄タイムス）



2021.11.14 琉球新報掲載



2021.11.24 沖縄タイムス掲載

クルーズの質の向上を目指した 港湾管理者等との連携

～クルーズポートコンソーシアム沖縄における統一した優先予約の開始～

2021.12 【開発建設部】

沖縄総合事務局では、県内港湾管理者（沖縄県、那覇港管理組合、石垣市、宮古島市）と連携とともに、県内港湾へのクルーズ船の寄港に関する課題等（寄港誘致等）に関する情報共有・意見交換を行う場として、「クルーズポートコンソーシアム沖縄」（以下「本コンソーシアム」という。）を令和2年度に設立いたしました。

これまで、本コンソーシアムでは、県内港湾のクルーズの予約受付方法について改善を検討し、本年5月～6月にかけて、各港湾（石垣港、平良港、中城湾港、本部港）で優先対象・受付方法等を統一した予約制度（以下「本優先予約」という。）を初めて試行いたしました。

従前は各港湾管理者がそれぞれ予約受付を行っており、予約確定の結果公表時期もばらばらであったため、各港湾への予約が個別に必要なことに加え、予約の仮押さえなどによる県内港湾での重複予約や直前のキャンセルが相次ぎ、各港での機会損失が発生しておりました。本優先予約の実施により、各港湾ではなく、クルーズの行程単位での申請が可能となったことで、重複予約を事前に防止し、各港の機会損失を軽減することが可能になります。

さらに、本優先予約では、沖縄県が新たな振興計画で掲げることを検討している「質の高いクルーズ観光の推進」に向け、沖縄発着クルーズ（フライ&クルーズ促進）、ワールドクルーズ（ラグジュアリー船誘致）を優先対象とし、統一した考え方で予約を確定するため、県全体での効果的なポートセールスも可能となります。

クルーズ船社からも「岸壁予約の利便性が向上し、沖縄発着クルーズを企画しやすくなった。」との反応をいただいております。今後も継続する取組として、12月21日に本コンソーシアムの幹事会（部長級）を開催し、本優先予約の試行結果とともに報告しました。

優先予約の対象クルーズ

沖縄発着クルーズ

那覇港・平良港・石垣港・中城湾港もしくは本部港を乗船港、下船港とするクルーズ。
居住地からクルーズの発着港まで航空便で移動する観光スタイル。



乗船客が発着地で前泊や後泊を伴うことが多く、出港前や帰港後の観光も含めた消費活動が見込まれるため、発着地における更なる消費拡大が期待できる。

ワールドクルーズ

平良港・石垣港・中城湾港もしくは本部港を一時寄港地とし、行程が100日以上で15か国以上の20か所以上の寄港地をめぐるクルーズ。
ラグジュアリークラスのクルーズが多い。

世界の各地を回る長期
周遊型のクルーズ



ラグジュアリークラスのクルーズのイメージ



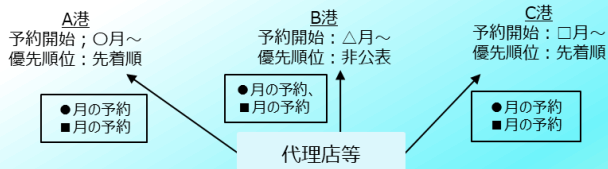
ラグジュアリークラスのクルーズ旅客は、自由裁量時間に恵まれ、かつ経済的余裕があることから、文化体験などの「コト体験」の旅行スタイルが多く、寄港地での消費拡大が期待できる。

予約申請イメージ

(例) ●月にA港→B港→C港、
■月にA港→C港→D港（県外）→B港 の予約を希望する場合

従前 それぞれの港湾に対し予約が必要

(※一部の港湾で予約ができなかった場合、クルーズ日程全体を見直す必要が生じ、場合によっては予約ができなかった他港の変更予約も生じていた。)



本優先予約 各行程ごとの申請が可能

代理店等

A港→B港→C港（●月）

A港→C港→
D港（別途申請）→B港（■月）

コンソーシアム

A港
B港
C港

